

## 報告書をご活用ください

### ～自治調査会では、幅広い分野の調査・研究を行っています～

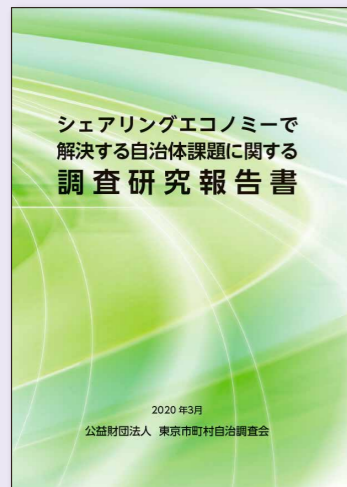
自治調査会では、1986年の設立以来300件を超える調査研究報告書を発行してきました。

2010～2019年度に発行した調査研究報告書は、当調査会ホームページ (<https://www.tama-100.or.jp/>) で閲覧・ダウンロードすることができます(一部の報告書を除く)。

今回は、2019年度に実施した調査研究等の報告書を紹介します。

### シェアリングエコノミーで解決する自治体課題に関する調査研究報告書

新しい共助の仕組みとして民泊やシェアサイクルなどの「シェアリングエコノミー」が近年注目されています。本調査研究では、多摩・島しょ地域自治体のシェアリングエコノミーの実施状況、住民の方の認知度や利用経験等を踏まえ、シェアリングエコノミーを取り入れた自治体課題解決の検討手順を提示しています。



### 公務員の副業・兼業に関する調査研究報告書

公務員の副業・兼業が「地域の担い手不足」と「自治体における人材育成」を同時に解決できる可能性に着目し、職員・行政・地域それぞれの側面から分析・検討を行いました。職員のスキルアップ、自治体の人材戦略、地域貢献を好循環させ、相乗効果を発揮することで、地域としての経営力を高めていく視点から、公務員の副業・兼業のあり方とその効果的な促進策について提言しています。



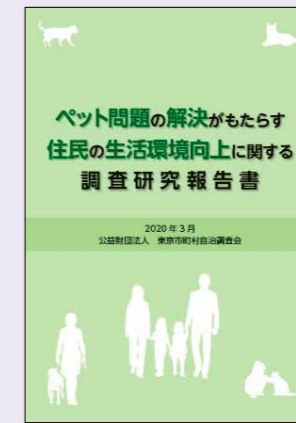
### 自治体における窓口業務改革に関する調査研究報告書

本調査研究は、人口減少社会を含めた厳しい環境の変化に柔軟に対応するため、多摩・島しょ地域自治体が窓口業務改革をどのように行うべきかについて調査しました。住民サービスを継続的に向上させ、業務効率化とコスト削減も考慮した人口減少社会に対応できる窓口とするためには、「全庁一丸でつくる窓口」を目指すべき将来像とし、トップ、管理職、企画・行政改革・窓口部署などの自治体窓口に関係する主体が積極的に関与することが必要であると提言しました。



### ペット問題の解決がもたらす住民の生活環境向上に関する調査研究報告書

本調査研究では、基礎自治体がペット問題に取り組む際に注力すべき点や、ペット問題の発生予防や早期対応のために必要な連携体制の構築等について、調査研究を行いました。私たちが暮らす街には、ペットを家族のように愛する人から、動物が苦手な人まで、様々な人がいます。そのため、「人間のためにペット問題に取り組む」という視点で、全ての住民の生活環境向上に寄与することを目指しました。



### 東京島しょ地域における魅力紹介に資するための調査研究

伊豆諸島・小笠原諸島の魅力を紹介するため、「東京 島めぐり 伊豆諸島・小笠原諸島魅力紹介ハンドブック」を作成しました。東京島しょ地域には人が住んでいる島が11あり、11島のそれぞれ異なる魅力を紹介しています。成り立ち・歴史・文化・自然・観光等、東京島しょ地域における学びも遊びも網羅している一冊です。



### 多摩地域データブック 2019(平成31・令和元)年版



今後のまちづくりや政策形成など行政運営上の基礎資料として、「人口・土地」、「産業」、「都市基盤」など主要な統計データ集を作成しました。

### 多摩地域ごみ実態調査 2018(平成30)年度統計



多摩地域の清掃事業及びリサイクル事業に関する基礎的な統計データ集を作成しました。

### 市町村財政力分析指標 (平成21年度から平成30年度まで)

財政力指数や経常収支比率など計11の分析指標を、過去10年度分掲載したデータ集を作成しました。

### 市町村税政参考資料 (平成21年度から平成30年度まで)

主要税目である市町村民税などの調定収入状況等を、過去10年度分掲載したデータ集を作成しました。